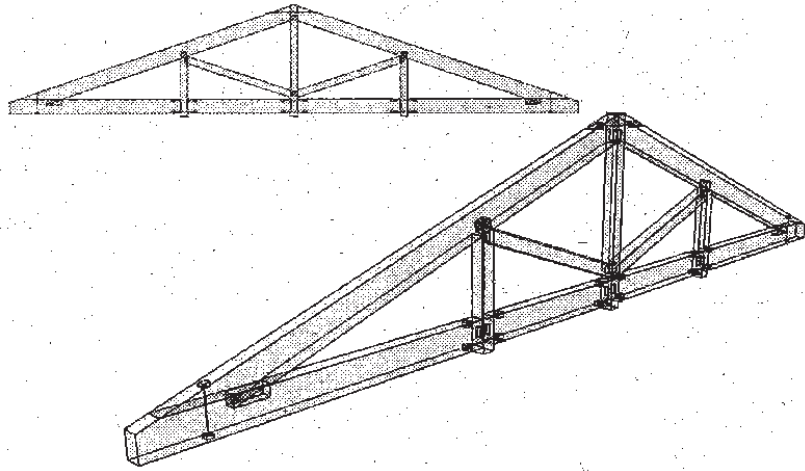


# JIS A3301トラス屋根に対応

## ネットイーグル



ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、軸組プレカットCAD「OPENNET・XSTAR」で木造校舎の構造設計標準「JIS A3301」に対応したトラス屋根を生成、加工できる「特殊加工オプション・A3301トラスバージョン」を発売した。中大規模木造プレカット技術協会の設計規準に準拠し、TG1〜TG4まで4種類のトラス屋根がCAD/CAMで加工できる。協会が今月から開始した「中大規模木造設計セミナー」に合わせて普及を図りたい考えだ。

### 一般流通材で大スパン

JIS A3301 通材と住宅用の機械プレカットで大スパンを実現できる屋根構造で、中大規模木造プレカット技術協会が接合部の収まりなどの仕様を標準化して普及を図っている。

JIS A3301トラスの端部はホゾ差しだが、先行発売した「特殊加工オプションVer.1.4」を使えば、構造計算を前提に地組みしやすい「大入れ」も可能で、「上まくり」「下まくり」も端部ごとに設定できる。斜材の納め方も、対「束」、対「登り梁」のどちらも選択できる。

「A3301」のトラス（TG2タイプ）

1（スパン9桁）、TG2（同9桁）、TG3（同12桁）、TG4（同15桁）の4種類。

木造校舎を巡っては文科省が今年3月にJIS A3301を全

面改正し、設計経験のない技術者でも比較的容易に計画、設計が進められるようにしたほか、6月に施行された改正建築基準法で従来は耐火構造が求められた木造3階建てが準耐火構造で可能になるなど、木造化が図りやすい法制度整備が進められている。

プレカット業界でも木造校舎をはじめ中大規模木造の受注は増加傾向にあり、今後も受注拡大に向けた取り組みはさらに活発化すると予想される。特に一般流通材と住宅用のプレカット機械で実現できるトラス屋根はニーズが多いことから今回の開発に踏み切った。